

アジア親密圏／公共圏教育研究センター主催

第1回ジェンダー研究会のお知らせ

下記の要領で、「2022年度第1回ジェンダー研究会」を開催します。専門領域・学年・学内外を問わず、どなたでも聴講可能です。皆様、是非、ご参加下さい。

- 日時： 5月30日（月）12時10分～13時10分
- 会場： オンライン（ZOOM）
- 登壇者： 川島隆先生（京都大学文学研究科ドイツ語学ドイツ文学専修准教授、専門は現代ドイツ文学・メディア論）
- 発表題目： 『ハイジ』原作と日本における受容の諸相

スイスの小説家ヨハンナ・シュピーリの小説二部作『ハイジ』（1880/81）は、これまで約70の言語に翻訳され、映画化やアニメ化の事例も数多い。その受容は言語圏ごとにまったく異なる様相を見せており、多種多様なハイジ像が流通することになっている。日本では、1974年のTVアニメ『アルプスの少女ハイジ』に典型的に見られるような「かわいい」キャラクターとしての受容が支配的だが、本発表ではその像のルーツを大正～昭和期の少女雑誌に探るとともに、戦前から戦後にかけて日本のハイジ受容が大きな屈折を経たことを明らかにする。

- 参加方法： 事前登録制。参加希望の方は、下記のURLにて事前登録をお願いします。登録者にはZoomのURLが自動で配信されます。

<https://kyoto-u-edu.zoom.us/meeting/register/tZ0tceCprTouHtGV85pAFzY1E0bw8B7Vw9x>

- 問い合わせ先： 平川佳世（京都大学文学研究科美学美術史学専修、2022年度ジェンダー研究会実行委員） hirakawa.kayo.6z@kyoto-u.ac.jp

